

# 塩竈市文化財保存活用地域計画【宮城県】

## 概要

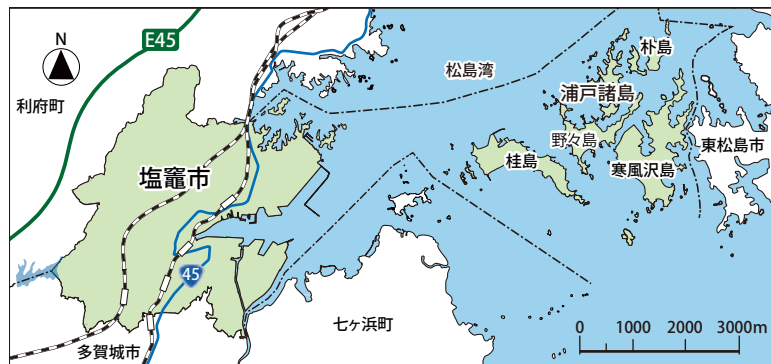
【計画期間】 令和9～13年度（5年間）

【面積】 17.38 km<sup>2</sup>

【人口】 約5.1万人

### 【関連制度】

日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」  
ふるさと文化財の森「志波彦神社鹽竈神社境内林」  
歴史の道百選「貞山堀運河」



## 指定等文化財件数一覧

類型		国	国	県	市	国	合計	
		指定・選定	選択	指定	指定	登録		
有形文化財	美術工芸品	建造物	1	—	0	3	1	5
		絵画	0	—	0	1	0	1
		彫刻	0	—	0	0	0	0
		工芸品	2	—	1	1	0	4
		書跡・典籍	0	—	0	2	0	2
		古文書	0	—	0	4	0	4
		考古資料	0	—	0	0	0	0
		歴史資料	0	—	0	2	0	2
無形文化財		0	0	0	0	0	0	
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	—	1	2	0	3	
	無形の民俗文化財	0	0	1	1	0	2	
記念物	遺跡	0	—	0	1	0	1	
	名勝地	2	—	0	0	0	2	
	動物・植物・地質鉱物	1	—	1	1	0	3	
文化的景観		0	—	—	—	—	0	
伝統的建造物群		0	—	—	—	—	0	
合計		6	0	4	18	1	29	

指定等文化財は29件、未指定文化財は1,216件把握

## 歴史文化の特徴



### 1. 鹽竈神社の文化と伝統建築

市街地の中央に鎮座する鹽竈神社は、古代から陸奥国一之宮として各時代の有力な支配者に保護され、その信仰の深さと権力を示す社殿により、人々の心のよりどころとなる歴史文化が創られました。



### 2. 古代以来の門前町と祭

古代より鹽竈神社の門前町として栄えてきた塩竈は、江戸時代、花街としての賑わいと氏子が始めた様々な祭によって、活気にあふれた町民の歴史文化が生まれました。



### 3. 海運と運河の港町

古代から東北有数の港町として栄えてきた塩竈は、江戸時代、寒風沢が江戸への廻船の拠点港となり、運河で城下と結ばれ、藩主により港が庇護されたため、独特な物流の歴史文化が形成されました。



### 4. 海の食文化と水産業のまち

松島湾に島々を有する塩竈は、古くから豊かな海の幸に恵まれ、塩づくりが行われてきました。また、江戸時代以降、水産物の流通基地として発展し、海の食に関連した歴史文化が培われました。



### 5. 名所と観光のまち

風光明媚な景勝地としての塩竈の名は、古代より和歌等の文学をとおして広く知られ、特に江戸時代以降、鹽竈神社と松島観光の海の玄関口として大変賑わい、華やかな観光の歴史文化が育まれました。

## 推進体制

市民	塩竈市民、塩竈ゆかりの市民、塩竈に興味がある市民等
所有者	神社、寺院、団体（保存会）、自治会、個人等
団体	NPO団体、各種団体、各種協議会、企業等
専門機関	専門家等、主な大学等、主な博物館等、主な図書館等、主な美術館等
行政	塩竈市（文化財担当・庁内関係課）、近隣市町、宮城県（文化財担当課）

方向性

I 豊かな歴史文化を  
「みがく」

II 未来へ  
「つなぐ」

III 魅力にあふれたまちを  
「創る」

課 題

- 継続的・計画的な把握調査が必要
- 専門的な調査の担い手の確保が必要
- 市民協働による調査が必要
- 所有者との連携が必要
- 文化財を保管・管理する施設の整備が必要
- 文化財の指定・登録が必要
- 文化的景観の保全や形成が必要
- 防災・防犯が必要

- 小中学校での主体的な郷土学習が必要
- 市民が歴史文化に関心を持つための機会が必要
- 市民への歴史文化の情報発信が必要
- 市民協働が必要
- 郷土芸能や伝統的な祭事の保存・継承が必要

- 歴史文化を創造する人材の育成が必要
- 歴史文化を生かした移住・定住の事業が必要
- 歴史文化を活用した観光振興が必要
- 歴史文化を生かした都市ブランドの確立が必要
- 歴史文化の広域連携が必要

方 針

- 継続的・計画的な把握調査の推進
- 専門的な調査の担い手の確保を推進
- 市民協働による調査の推進
- 所有者との連携を推進
- 文化財を保管・管理する施設の整備を推進
- 文化財の指定・登録の推進
- 文化的景観の保全や形成を推進
- 防災・防犯の推進

- 小中学校での主体的な郷土学習を推進
- 市民が歴史文化に関心を持つための機会の提供
- 市民への歴史文化の情報発信を推進
- 市民協働を推進
- 郷土芸能・伝統的な祭事の保存・継承を推進

- 歴史文化を創造する人材の育成を推進
- 歴史文化を生かした移住・定住の事業を推進
- 歴史文化を活用した観光振興を推進
- 歴史文化を生かした都市ブランドの確立を推進
- 歴史文化の広域連携を推進

主 な 措 置

- I-1-4 文化財の把握調査を推進
- I-1-5 専属学芸員・文化財専門職員の配置を推進
- I-1-8 団体等への調査委託の検討を推進
- I-2-1 指定文化財の適切な保存・管理を推進
- I-2-5 民間博物館・美術館等との連携を推進
- I-2-7 未指定文化財の指定・登録の推進
- I-2-9 文化財所有者へ防災・防犯の啓発を推進



文化財の把握調査  
(鹽竈神社の古文書)



防災施設等の整備  
(鹽竈神社)

- II-1-4 「塩竈の歴史」の改訂と配布を推進
- II-1-5 「塩竈学問所講座」を推進
- II-1-12 市制100周年に向けた市史編さんを推進
- II-2-3 文化財保存活用支援団体の指定を推進
- II-2-4 郷土芸能への支援を推進



「塩竈学問所講座」



文化財保存活用支援団体の説明会 (NPO 懇談会)

- III-1-2 歴史文化を生かした市民活動の支援を推進
- III-2-2 移住者への歴史文化情報の発信を推進
- III-2-6 文化財を生かしたイベントの開催を推進
- III-2-17 歌枕の地としてのPRを推進
- III-2-22 「日本三奇」の広域連携を推進



文化財を生かしたイベント  
(塩竈みなと祭)



「日本三奇」の広域連携  
(御釜神社「四口神釜」)

# 文化財保存活用区域 1 「塩竈区域」

## 概要

「塩竈区域」は、奈良時代から続く鹽竈神社の門前町であり、国府多賀城の国府津に始まる東北有数の港まち、歌枕の景勝地であることから関連した文化財が数多く残されています。



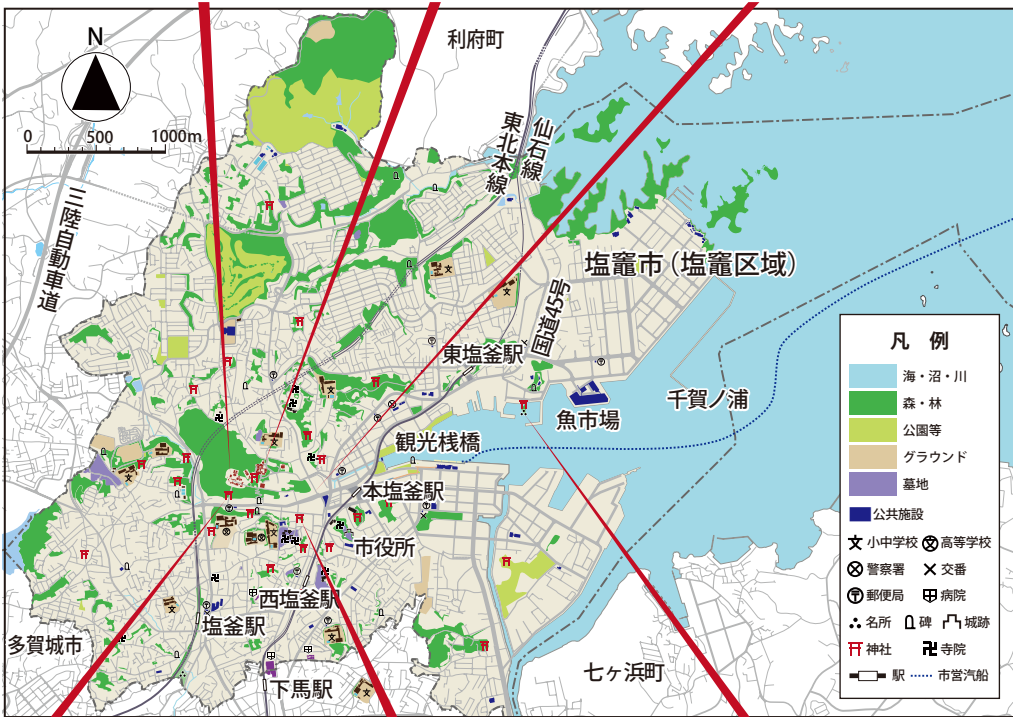
鹽竈神社(国指定 建造物)



志波彦神社(市指定 建造物)



丹六園店舗兼主屋(国登録 建造物)



鹽竈神社帆手祭・花祭(未指定)



四口の神釜(市指定 有形の民俗文化財)



おくのほそ道風景地 籬が島(国指定名勝)

## 課題

- 「塩竈区域」の文化財を活用した観光振興が必要
- 文化財を展示するための施設整備が必要
- 「塩竈区域」の文化的景観の保全・形成が必要
- 「塩竈区域」の歴史的建造物の保存・活用が必要
- 「塩竈区域」の芸能・祭事への支援が必要



またなの岡からの眺望

## 方針

- 「塩竈区域」の文化財を活用した観光振興を推進
- 文化財を展示するための施設整備を推進
- 「塩竈区域」の文化的景観の保全・形成を推進
- 「塩竈区域」の歴史的建造物の保存・活用を推進
- 「塩竈区域」の芸能・祭事への支援を推進



まち歩きイベント

## 主な措置



A-1-2  
参道・境内での  
イベントの開催



A-1-7  
裏坂下周辺の  
観光拠点の整備



A-2-1  
まちかど博物館づくり



A-3-3  
公共事業による  
文化的景観の形成



A-4-1  
文化財指定等の検討



A-5-1  
郷土芸能への支援

# 文化財保存活用区域2 「浦戸区域」

## 概要

「浦戸区域」は、全域が特別名勝「松島」となっており、島々には数多くの貝塚や製塩遺跡があり、有人4島に近世の交易などの歴史を物語る文化財が残されています。



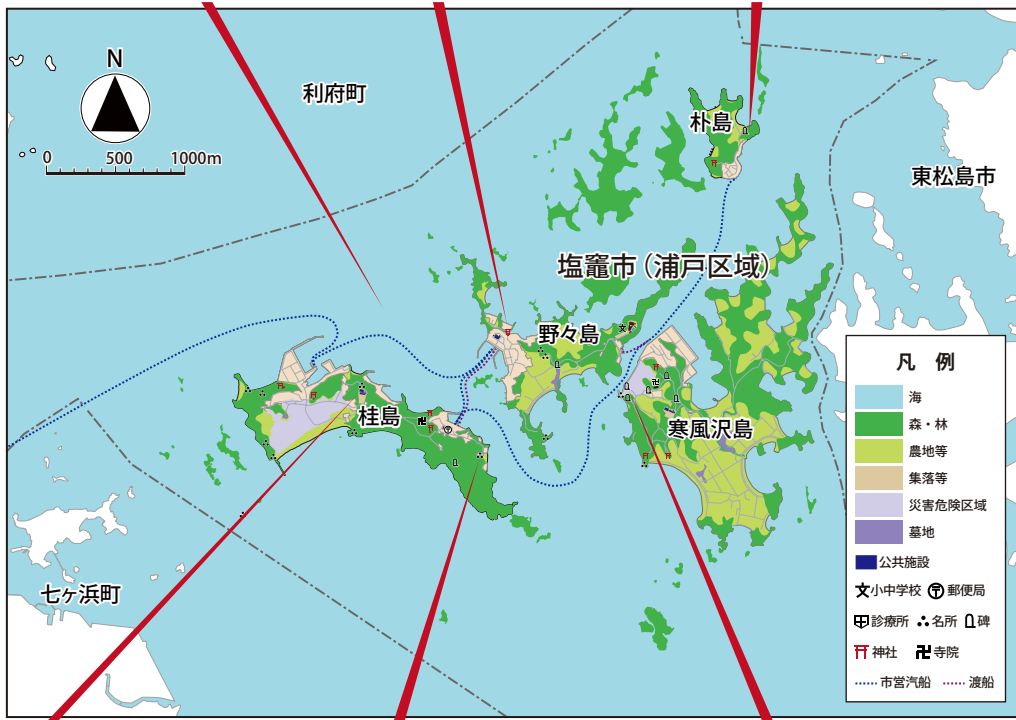
松島 (国指定 名勝)



熊野神社 (未指定)



弘安十年銘供養碑 (未指定)



桂島貝塚 (市指定 遺跡)



白石廣造邸跡 (未指定)



寒風沢造船の碑 (市指定 書跡・典籍)

## 課題

- 「浦戸区域」の文化財を活用した観光振興が必要
- 「浦戸区域」の文化財の環境整備が必要
- 「浦戸区域」の文化的景観の保全・形成が必要
- 「浦戸区域」の歴史的建造物の保存・活用が必要
- 「浦戸区域」の芸能・祭事への支援が必要



東日本大震災直後の状況

## 方針

- 「浦戸区域」の文化財を活用した観光振興を推進
- 「浦戸区域」の文化財の環境整備を推進
- 「浦戸区域」の文化的景観の保全・形成を推進
- 「浦戸区域」の歴史的建造物の保存・活用を推進
- 「浦戸区域」の芸能・祭事への支援を推進



枯れた松林

## 主な措置



B-1-1  
生業を体験する  
イベントの開催



B-1-4  
歴史文化を生かす  
交流拠点の整備



B-2-2  
歴史サインや  
標柱の整備



B-3-3  
菜の花 (仙台白菜)  
の再生



B-4-1  
文化財指定等の検討



B-5-2  
伝統的な祭事  
への支援